

福山エリアへの事業参画の意義

何故、今、福山駅北口広場なのか

今後、人口減少が進みますが…

- ✓ 少子高齢化・人口減少が進む中、観光需要は伸びる可能性を秘めています

福山市生産年齢人口及び広島県観光客数の推移



【出所】生産年齢人口：国立社会保障・人口問題研究所(2018年)
観光客数：[~2015年] 広島県
[2020年~] 観光庁(2016年)訪日外国人旅行者の目標数を元にJR西日本にて試算

交流人口の増加を目指します

- ✓ 観光客等が沿線を周遊し、滞在することで地域経済を潤す、交流人口の増加が必要です

JR西日本グループ中長期経営計画2022における「地域価値の向上」

地域の皆様と一体となり、誰もが訪れたいくなるまち、誰もが住みたいくなるまちや沿線をつくります

【瀬戸内】繰り返し訪れたいくなる一大周遊エリアに
= 「せとうちパレットプロジェクト」

基盤となる広域周遊ルート構成

集客力のあるコンテンツ整備



福山市は備後の中核都市であり、

福山駅は瀬戸内の旅の玄関口です

最新Topix

「福山駅北口広場の整備等に関する協定書」締結を契機に福山駅の拠点性を強化

2020.3.14 福山駅発着の新幹線増発

「みずほ」：上下各2本新規/日

「さくら」：上り1本増/日 = 全便停車(上下各16本程度/日)

「のぞみ」：臨時列車上下各7本増/日(今春の週末及びゴールデンウィーク期間)



福山における事業展開

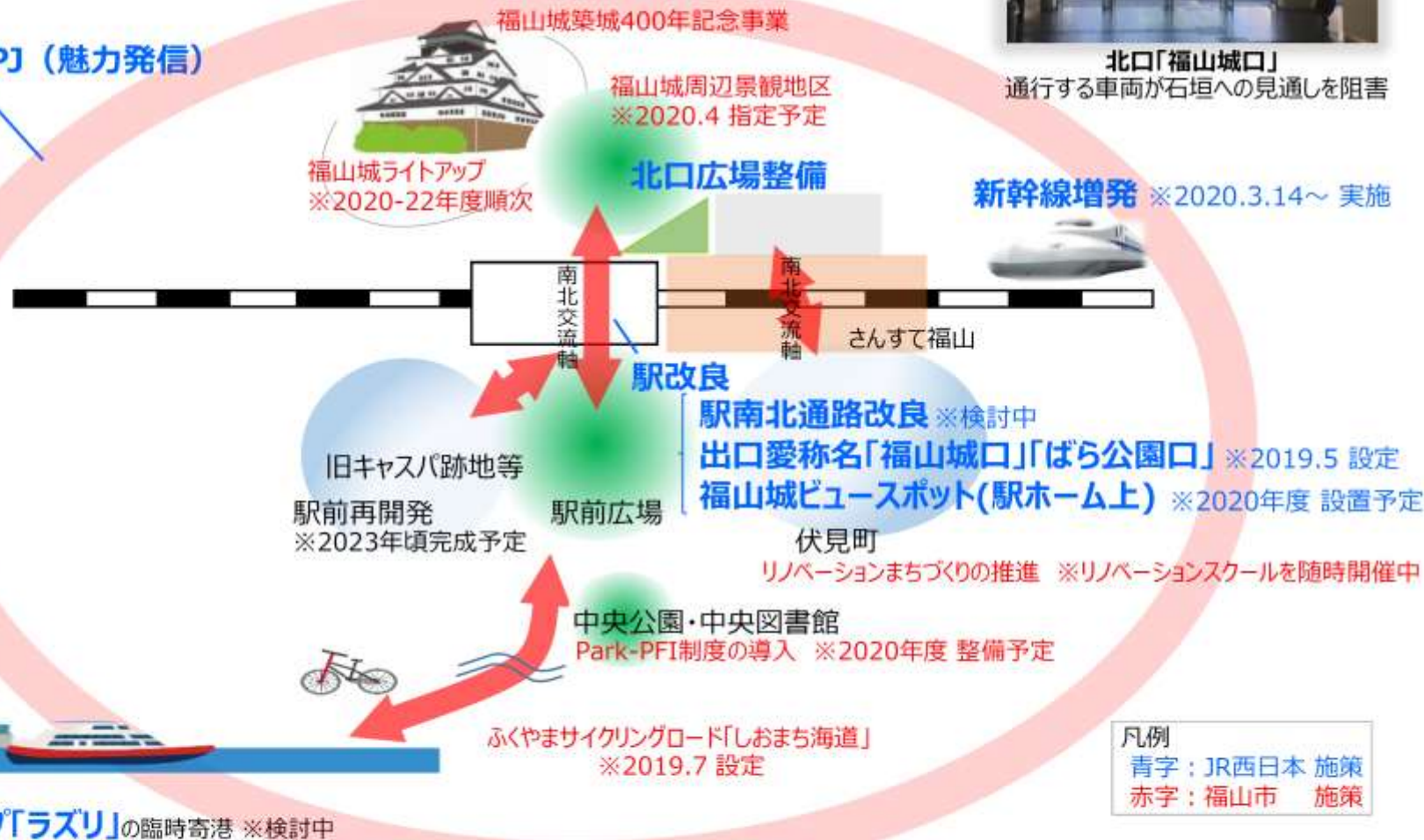
福山駅前再生に参画します

福山城にいざなう、駅南北の人の流れを作ります



北口「福山城口」
通行する車両が石垣への見通しを阻害

せとうちパレットPJ (魅力発信)



鞆の浦・福山港

サイクルシップ「ラズリ」の臨時寄港 ※検討中



※現在「尾道港～瀬戸田港(生口島)」を定期運航中

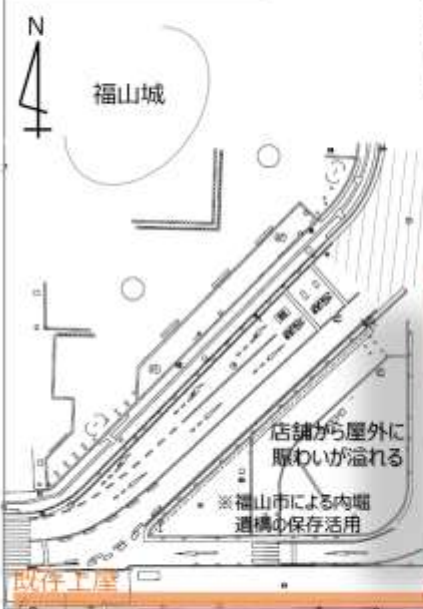
地域経済活性化の流れは駅前から瀬戸内へ
(鞆の浦、福山港、サイクリングロード)

Point 1

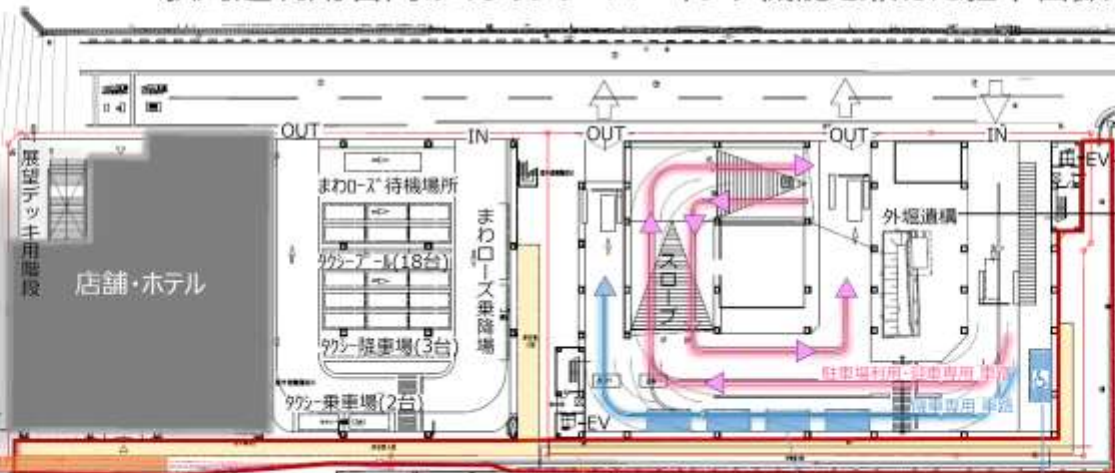
北口周辺に生じている課題を改善し、
 送迎駐車機能の利便性が向上します



1階) 建物平面図



送車場：1階は円滑な降車が可能な**玉突き型降車バス**を採用、混雑時等は上層階を利用
迎車場：上層階(駐車場との兼用により余裕のある迎車を実現) ※送迎時は一定時間無料
駐車場：新幹線利用者向けに優遇措置のあるパーク・アンド・ライド機能と、駅周辺利用者向けのフリンジ・パーキング機能を兼ねた駐車台数



幅員 約4.2mの歩道

外堀遺構の保存活用

※保存方は福山市と今後協議



さんすて福山

Point 2

形状や仕様を工夫することで圧迫感を低減し、
「賑わいのある駅北口」を創造します

建物外観パース



●外壁には落ち着いた色を採用

建物俯瞰イメージ



展望デッキから見たイメージ



●建物西側部分を切り欠き、
視野を確保

建物北東部から見たイメージ



店舗棟 駐車場棟

その他図面関係

2階) 建物平面図



3～5階) 建物平面図



6・R階) 建物平面図



※2～R階の車いす使用者用パースの位置は検討中

建物断面図



本資料に掲載する計画建物に関する図面及び画像は、
今後の設計により変更となる可能性があります(2020.2.13時点)